

日本水土総研セミナー

農業水利施設管理者のための BCP（事業継続計画）シンポジウム

参加
無料

農業と農村は、国民に安定的な食料を供給するのみならず、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しています。しかしながら、過疎化・高齢化により集落機能や地域資源の維持が困難となっており、多面的機能支払いの導入により地域共同の取組が支援されている他、6次産業化など、雇用・所得の創出や都市農村交流等の活性化につながる動きも見られず。

また、担い手へ農地集積し飼料米等の拡大を図るなど農業構造や営農体系の変化に対応すべく、農業用水や施設の管理についても一層の合理化が求められています。

さらに、近年大規模地震の発生や気候変動に伴う自然災害のリスクが高まっており、農村においても老朽ため池対策を含む防災・減災対策など「国土強靱化」に向けた取組を進めることが一層重要となっています。

こうした中、(一財)日本水土総合研究所は、昭和53年の設立以来シンクタンクとして農業農村整備及び農村振興に関する政策的及び技術的課題を解決するための調査研究を行い、その成果を各方面に発信しています。

この度その一環として、「農業水利施設管理者のためのBCP（事業継続計画）シンポジウム」と題し、下記のとおりセミナーを開催することといたしました。

本セミナーでは、我が国 BCP の第一人者であり、政府の各種ガイドライン策定に携わっておられる渡辺研司名古屋工業大学大学院教授から、「土地改良施設管理者のための業務継続マネジメント（BCM）のあり方と課題」をテーマとしたご講演をいただきます。

また、当研究所からは、最近の研究成果の中から、大きな注目を集めている「ため池の管理と耐震対策の優先度評価」、「農業用水をとりまく現状と課題」について紹介いたします。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の東海地方における地域農業の振興や農地・農業用施設の維持管理に向けた活動の一助となれば幸いです。

日時：平成28年 9月13日(火) 13:30~16:30
(開場・受付 13:00~)

会場：桜華会館 桜花の間

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸一丁目7-2
TEL：052-201-8076

交通アクセス 市営地下鉄名城線「市役所駅」5番出口より 徒歩7~8分
市営地下鉄桜通線「丸の内駅」4番出口より 徒歩15分
市営地下鉄鶴舞線「丸の内駅」1番出口より 徒歩10分

※ 来客用駐車場はありませんのでお近くの有料駐車場をご利用ください。

定員：110名 (定員となり次第締め切りとさせていただきます。)

主催：一般財団法人 日本水土総合研究所

写真) 東海農政局ウェブサイトより

プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	一般財団法人 日本水土総合研究所理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	土地改良施設における業務継続マネジメント (BCM) のあり方と課題 名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻教授 渡辺 研司
14:30	質疑(15分)	
(14:45~15:00) 休 憩		
15:00	講演 (40分)	ため池の管理と耐震対策の優先度評価 一般財団法人 日本水土総合研究所調査研究部部长 石井 克欣
15:40	質疑(5分)	
15:45	講演 (40分)	農業用水をとりまく現状と課題 一般財団法人 日本水土総合研究所企画研究部主任研究員 草 大輔
16:25	質疑(5分)	

セミナー会場

(一財) 桜華会館 桜花の間 (南館3階)



一般財団法人 桜華会館ホームページより

講師の紹介

講師 **渡辺 研司** (わたなべ けんじ) 氏

名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻 教授
(リスクマネジメントセンター防災安全部門長兼務)

【専門領域】IT リスクマネジメント、事業継続マネジメント (BCM)、重要情報インフラ防護 (CIIP)

【略 歴】

- 1961年 東京生まれ
- 1986年 京都大学農学部林学科砂防工学卒業
富士銀行 (現みずほ銀行) 入行
- 1997年 プライスウォーターハウスクーパース
金融インダストリー事業部ディレクター
- 2003年 長岡技術科学大学工学部経営情報学科
システム安全専攻 准教授
- 2010年 現職

【主な委員会等活動】

- ・内閣官房重要インフラ専門会議 委員長
- ・経済産業省技術環境局 ISOセキュリティ統括国内委員会 SG2 座長
- ・農林水産省農地・農業用施設関連減災総合対策委員会委員
- ・サイバーセキュリティ戦略本部重要インフラ専門調査会 会長

このまま切らずに FAX 又はメールで送付してください

参加申込書

定員 (100 名) になり次第
締め切りとさせていただきます。

所 属 等	参加者氏名	※CPD 登録番号
住 所 〒		
電話番号		

※本セミナーは (公社) 農業農村工学会 技術者継続教育機構 (CPD) 認定プログラムとして申請致します。

申 込 先

03-3502-1329 (FAX) または ken-matsunaga@jiid.or.jp

お問い合わせは、日本水土総合研究所 草(くさ)、松永までお願いします (電話 03-3502-1586)